



# 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 翻訳センター  
コード番号 2483 URL <http://www.honyakuctr.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 郁男  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 中本 宏

TEL 06-6282-5013

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,593	22.8	173	233.5	177	258.2	112	478.4
28年3月期第1四半期	2,110	0.0	52	217.7	49	201.2	19	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 104百万円 (447.8%) 28年3月期第1四半期 19百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	66.94	—
28年3月期第1四半期	11.57	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,746	3,141	66.1
28年3月期	4,657	3,126	67.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,141百万円 28年3月期 3,126百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	53.00	53.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	10.2	210	56.1	210	65.3	130	110.8	77.17
通期	9,700	5.6	650	21.5	650	21.6	420	△2.4	249.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年8月9日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	1,684,500 株	28年3月期	1,684,500 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	— 株	28年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	1,684,500 株	28年3月期1Q	1,684,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策により景気は緩やかな回復傾向にあるものの、中国経済の減速継続や、円高進行による企業収益への影響、英国のEU離脱が国民投票で決定するなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループでは第三次中期経営計画(平成28年3月期～平成30年3月期)において、言葉に関する事業領域の拡大による新たな価値創造を推し進め、企業のグローバル展開に伴う翻訳・通訳需要の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当社グループのコアビジネスである翻訳事業の売上高が前年同期比3.6%増加したことに加え、大型国際会議の運営によりコンベンション事業の売上高が前年同期比541.1%増と大幅に増加したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比22.8%増の2,593百万円となりました。利益面においては、翻訳事業とコンベンション事業の売上が寄与したことから、営業利益は前年同期比233.5%増の173百万円、経常利益は前年同期比258.2%増の177百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比478.4%増の112百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 翻訳事業

特許分野では、特許事務所における受注は堅調に推移し、企業の知的財産関連部署からの受注も好調に推移したことから、売上高は前年同期比7.1%増の438百万円となりました。医薬分野では、プリファードベンダー(注)契約を締結している外資製薬会社からの安定した受注と国内製薬会社や医療機器関連企業における受注拡大に加え、CROから長期案件を獲得したこともあり、売上高は前年同期比10.4%増の582百万円となりました。工業・ローカライゼーション分野では、電機・電子部品関連企業からの受注は堅調に推移する一方、自動車関連企業からの受注が低迷したため、売上高は前年同期比6.0%減の414百万円となりました。金融・法務分野の売上高は前年同期比0.03%増の184百万円となりました。これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比3.6%増の1,619百万円となりました。

## ② 派遣事業

語学スキルの高い人材を派遣する派遣事業においては、金融関連企業やサービス関連企業、医薬品関連企業からの求人は堅調に推移したものの登録スタッフ不足が影響し、売上高は前年同期比1.9%減の218百万円となりました。

## ③ 通訳事業

通訳事業においては、保険・銀行・証券など金融関連企業や医薬品関連企業などからの受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比7.3%増の174百万円となりました。

## ④ 語学教育事業

語学教育事業においては、株式会社アイ・エス・エス・インスティテュートが運営する通訳者・翻訳者育成講座のうち4月～9月開講のレギュラーコースにおいて計画通り集客できたことから、売上高は前年同期比2.6%増の57百万円となりました。

## ⑤ コンベンション事業

コンベンション事業においては、今年6月に福岡で開催された大型国際会議「第99回ライオンズクラブ国際大会」をはじめ「第19回日本臨床救急医学会総会・学術集会」、「第17回嗅覚・味覚国際シンポジウム(ISOT2016)」などを運営し、売上高は前年同期比541.1%増の478百万円となりました。

## ⑥ その他

その他のセグメントにおいては、外国への特許出願に伴う明細書の作成や出願手続きを行う株式会社外国出願支援サービスが好調に推移したことなどから、売上高は前年同期比38.6%増の44百万円となりました。

(注) プリファードベンダーとは、企業が優秀な人的リソースの確保と費用低減を狙い、優先的に業務を委託する特定の調達先(ベンダー)を指す。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円増加いたしました。

これは主にコンベンション事業の売上高の増加などにより、売掛金が増加したことによるものであります。固定資産は538百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主にのれんが減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,746百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が減少したものの、コンベンション事業の原価の増加に伴い買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は77百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは主に役員退任に伴い役員退職慰労引当金が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,141百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。これは主に親会社に帰属する四半期純利益の計上および剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ第2四半期連結累計期間ならびに通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成28年8月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な不確定要素や今後の業況等により、実際の業績とは異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,192,270	2,169,970
受取手形及び売掛金(純額)	1,577,831	1,704,870
仕掛品	121,777	147,883
その他	205,442	185,856
流動資産合計	4,097,320	4,208,581
固定資産		
有形固定資産	127,969	121,009
無形固定資産		
のれん	91,502	76,111
その他	77,677	72,649
無形固定資産合計	169,180	148,760
投資その他の資産	262,588	268,352
固定資産合計	559,738	538,122
資産合計	4,657,059	4,746,704
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	697,459	924,764
未払法人税等	137,797	68,057
賞与引当金	169,055	105,544
その他	430,843	428,887
流動負債合計	1,435,155	1,527,254
固定負債		
役員退職慰労引当金	35,400	23,800
退職給付に係る負債	32,269	29,687
その他	28,232	24,312
固定負債合計	95,902	77,800
負債合計	1,531,057	1,605,054
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	2,027,602	2,051,085
株主資本合計	3,094,868	3,118,351
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	31,133	23,298
その他の包括利益累計額合計	31,133	23,298
純資産合計	3,126,002	3,141,649
負債純資産合計	4,657,059	4,746,704

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,110,198	2,593,265
売上原価	1,214,751	1,572,619
売上総利益	895,447	1,020,646
販売費及び一般管理費	843,365	846,948
営業利益	52,082	173,698
営業外収益		
受取利息	161	13
受取配当金	500	-
為替差益	58	1,647
持分法による投資利益	-	1,798
その他	449	33
営業外収益合計	1,169	3,492
営業外費用		
持分法による投資損失	3,766	-
支払利息	24	17
営業外費用合計	3,790	17
経常利益	49,461	177,173
特別利益		
持分変動利益	-	1,397
特別利益合計	-	1,397
税金等調整前四半期純利益	49,461	178,570
法人税等	29,968	65,810
四半期純利益	19,492	112,760
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,492	112,760

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	19,492	112,760
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△340	△7,834
その他の包括利益合計	△340	△7,834
四半期包括利益	19,152	104,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,152	104,925
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	語学教育 事業	コンベン ション事業	計		
売上高								
外部顧客への売上 高	1,561,497	223,162	162,667	55,996	74,583	2,077,907	32,291	2,110,198
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	4,980	1,454	5,057	—	—	11,492	4,892	16,384
計	1,566,478	224,616	167,725	55,996	74,583	2,089,399	37,183	2,126,583
セグメント利益又は 損失(△)	46,575	12,499	4,281	9,276	△6,197	66,435	△5,826	60,608

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	66,435
「その他」の区分の損失(△)	△5,826
セグメント間取引消去	5,437
のれんの償却額	△13,962
四半期連結損益計算書の営業利益	52,082

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	語学教育 事業	コンベン ション事業	計		
売上高								
外部顧客への売上 高	1,619,184	218,908	174,691	57,506	478,209	2,548,501	44,764	2,593,265
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	9,386	—	2,837	—	—	12,224	5,034	17,258
計	1,628,571	218,908	177,529	57,506	478,209	2,560,725	49,798	2,610,524
セグメント利益	87,519	17,820	4,067	7,734	59,079	176,221	7,925	184,147

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	176,221
「その他」の区分の利益	7,925
セグメント間取引消去	3,513
のれんの償却額	△13,962
四半期連結損益計算書の営業利益	173,698